

- 問1 近年、日本の都市部では集中豪雨による水害を防ぐため、地上の公園やビルの地下深くに巨大な空間を確保する取り組みが行われています。河川の水位が上昇した際、あふれそうになった水を一時的に引き込んで貯めることで、周辺地域や下流の氾濫を防ぐ役割を持つ施設を何といいま
すか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 下水道 2. 浄水場 3. 発電用ダム 4. 地下調節池
- 問2 沖縄県的那覇市や宮崎県の宮崎市など、日本の南部や太平洋側に位置する都市の気象統計を確認すると、8月に比べて9月の降水量が急増する傾
向が見られます。このような降水量の変化をもたらす主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. シベリア高気圧の発達により、湿った北西の季節風が吹き込むため 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東の風が影響するため 3. 熱帯低気圧が発達した台風が、日本付近を接近・通過することが増えるため 4. 小笠原高気圧とオホーツク海高気圧の間に停滞する梅雨前線が活発になるため
- 問3 東北地方の東側に位置する太平洋上の海域では、南から北上してくる黒潮（日本海流）と、北から南下してくる親潮（千島海流）がぶつかり合
っています。このような海域が「潮目（潮境）」と呼ばれ、世界的な好漁場となる理由として最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試
類似)
1. 性質の異なる海流がぶつかることで海底の栄養分が巻き上げられ、魚の餌となるプランクトンが豊富に発生するため。 2. 大陸から続く水深約200mまでの浅い海が広がっており、日光が海底まで届きやすく水生植物が育ちやすいため。 3. 暖流の勢いが強まることで一年中水温が高く保たれ、熱帯性の大型魚類が常に回遊してくるようになるため。 4. 「バンク」と呼ばれる海底の盛り上がった地形が存在し、そこが魚の産卵場所や絶好の隠れ家となっているため。
- 問4 火山の噴火による爆発や、噴火した後に地下のマグマが消失することで、地表が陥没して形成された大規模なくぼ地状の地形を何と呼びますか
。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. フィヨルド 2. フォッサマグナ 3. 三角州 4. カルデラ
- 問5 都市部での浸水被害の要因をまとめた資料において、被害を大きくする地表の状態と雨水の動きについて説明した文として正しいものはどれで
すか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 砂地が多いため、雨水とともに大量の土砂が河川に流れ込みやすい。 2. ダムが多すぎるため、雨水が地下へ流れる経路が遮断されている。 3. 地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が染み込みにくい。 4. 森林が多すぎるため、雨水が地表付近に留まりやすい。
- 問6 日本列島の南側に位置するプレートの境界付近で発生が予測されている南海トラフ地震に備え、被害を最小限に抑える「減災」の観点から、住
民が事前に行うべき行動として最も適切なものはどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 津波の発生が予想される場合でも、避難所の混雑を避けるため、まずは自宅の2階などの高い場所で待機し続ける。 2. 自分の住む地域の危険度や避難場所を示したハザードマップを確認し、複数の避難経路を把握しておく。 3. 過去に大きな地震の被害を受けていない地域であれば、特段の備えは必要ないと判断し、地域の防災訓練への参加を控える。 4. 地震が発生し、実際に揺れを感じてから、自治体のホームページで避難場所や持ち出し品の情報を調べ始める。
- 問7 福島県の郡山市周辺を流れる安積疏水は、猪苗代湖から山を越えて安積原野へと導水されています。ポンプなどの機械的な動力に頼らずに、遠
く離れた原野まで水を流し続けることができた地理的な理由を説明したものと、適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 猪苗代湖の水量が年間を通じて豊富であり、常に強い水压を維持できるから 2. 安積原野の土壌が水を通しやすい性質を持っており、自然に地下へ浸透するから 3. 水路の途中にダムを設置し、人為的に水位を一定に保つ工夫をしたから 4. 供給源である猪苗代湖の標高が、供給先である安積原野の標高よりも高い位置にあるから
- 問8 日本海側の地域において、冬に雪や雨などの降水量が多くなるメカニズムとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 大陸からの冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇気流となるため。 2. 南東から吹く暖かく湿った季節風が、日本海を流れる寒流の影響で急激に冷やされ、大量の雲を発生させるため。 3. 日本海を流れる暖流によって海水温が上昇し、一年を通じて上昇気流が発生しやすくなるため。 4. 赤道付近で発生した湿った空気が、冬の時期に日本海側の低気圧に向かって集中的に流れ込み、停滞するため。
- 問9 本州の中央部を南北に縦断するように広がる「フォッサマグナ」に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 激しい火山活動によって山頂部が陥没し、その中央に水が溜まることで形成された大きなくぼ地である。 2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈からなり、日本の屋根とも呼ばれる標高の高い山岳地帯である。 3. 九州地方の南部に分布する、過去の巨大噴火による火山灰などが厚く降り積もって形成された台地である。 4. ラテン語で「大きな溝」を意味し、日本列島を地質学的な構造によって東西に分ける境界となっている。
- 問10 平安時代末期、奥州藤原氏が東北地方の岩手県を拠点として築いた世界文化遺産について、当時の仏教思想を背景に建立された代表的な建造物
を含む名称はどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 鳥根の石見銀山遺跡 2. 広島の大厳島神社 3. 平泉の中尊寺金色堂 4. 日光の東照宮
- 問11 三陸海岸などの沿岸部において、鉄筋コンクリート製で高い位置に避難スペースを持ち、らせん階段などが備えられた「避難タワー」が整備さ
れている主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 地震後に発生する津波から、近くに高台がない場所でも一時的に命を守るため 2. 集中豪雨による土石流から逃れるため、鉄筋コンクリートで土砂を受け止めるため 3. 火山が噴火した際に放出される火山灰や火砕流を避けるためのシェルターとするため 4. 干ばつによる水不足に備え、高い場所に飲料水を蓄えるための貯水施設にするため
- 問12 日本海側の気候に属する京都府北部の舞鶴市において、冬の時期に降水量（降雪を含む）が多くなる要因について、季節風と地形の関係から説
明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 年間を通して安定した偏西風が吹くことで、大陸からの乾燥した空気が常に供給され、上昇気流が発生しやすくなるため。 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾いた北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇気流が生じるため。 3. 赤道付近で発生した低気圧が北上し、暖かい海水の影響を受けて冬場でも湿った空気が日本海側に流れ込み続けるため。 4. 小笠原高気圧から吹き出す湿った南東の季節風が、山脈を越える際に水分を放出し、ふもとの地域に乾燥した風をもたらすため。